

# poco a poco

パラグアイ便り 2025/01/01 Número23

2022年度 青年海外協力隊

氏名：吉田 花純

職種：小学校教育

## 【最終報告会を行いました】

まだ活動は続きますが、2年間を振り返るとともにお世話になった方々に感謝の気持ちを伝えるための『最終報告会』を行いました。二人三脚で活動に励んできた“相棒”からパラグアイダンスの衣装やアクセサリーを借り、別の同僚には最も伝統的だというヘアセットをしてもらいました。お世話になった方々や同僚のみなさんに見守られる中、これまでの活動とそれらに込めていた意図や願い、協力隊に参加した動機、今後の自分の夢、限られた残りの時間で行いたいことを伝えました。心温まるそんな優しい空間になることを願っていましたが、大成功でした。同僚達は終始笑顔で、何より自分自身が思いきり楽しみました。どの写真にも、くしゃくしゃの笑顔で映る自分の姿がありました。また終盤には、折り紙で作ったプレゼント兼マイクを手渡し、映画『リメンバー・ミー』の主題歌（スペイン語）と一緒に歌うというサプライズを演出しました。

そのあと相棒からもサプライズがありました。一緒にいすぎたせいで考えることがずいぶん似てきたなあと温かい気持ちになりました。最終報告会で話す内容を事前に二人だけで打ち合わせたとき、彼女は寂しくなると泣いてくれました。私よりも人生経験、教員経験がある一回り以上歳上の彼女ですが、このような嬉しいことを言ってくれました。「花純と出会えたおかげで私の人生は大きく変わった。自分でも驚くほど生き方や考え方が変わった。仕事やそれ以外のことでやりたいことや目標がたくさん見つかった。花純と一緒に仕事をするのは本当に楽しくてワクワクした。そして私の家族としても一緒にいてくれてありがとう。花純は私の憧れだ。」私もすかさず「パラグアイで公私ともに充実した時間を過ごすことができたのは、紛れもなくあなたのおかげだよ。あなたがいなかったら本当に何もできなかったし、こんなにたくさん素敵な経験をすることはできなかったよ。本当にありがとう。」と伝えました。紛れもない事実であり、心からの深い感謝の気持ちを伝えました。彼女と出会えたということ1つをとっても、パラグアイに来ることができて本当によかったと思えます。

また報告会終了後には、プライベートでお世話になった人たちに晴れ着姿を見せに行きました。パラグアイの伝統衣装を着こなしていること、わざわざ会いに来てくれたということにみなさん大喜びしてくれました。いろんな人に孫として、娘として、妹として可愛がってもらえたなあと、本当に有難く感じています。







### 【最後に渡したプレゼント】

お世話になった同僚や保護者のみなさん、可愛くて仕方がない大好きなパラグアイの子ども達に何かできることはないかと考え、最後のプレゼントとしてある動画を作ることにしました。それは、学校の紹介ビデオです。子ども達の愛らしい笑顔と好きなことや夢について目をキラキラと輝かせて語るその貴重な今の姿を動画として記録すること、そして日本の子ども達に紹介することが目的です。パラグアイ人も日本人も楽しめるように、また両国の繋がりが確かにあったという証となるように、3つの言語（パラグアイの公用語であるスペイン語・グアラニー語／日本語）を用いて作成しました。児童生徒全員を必ず一度は登場させてあげたいと思い、100本以上の動画を撮影し限られた時間に収まるように編集しました。学校のSNSを通して保護者のみなさんにも見ていただきましたが、とても喜んでもらえました。日本で私の帰りを待っている児童のみなさん、楽しみにしててくださいね。

### 【ひとこと】

“poco a poco”ですが、次回で最終号となります。日本の子ども達にパラグアイについて紹介したい。私が元気に活動する姿をリアルタイムで伝えたい。そんな思いで書き始めましたが“書くこと”を通して自分の考えを整理し、その時にしか感じることでできない新鮮な感情を記録する良い機会として活用させていただいたと感じています。その時々を思いをどのような言葉を選んで表現していたかを読み返すと考えの変化や成長などに気付き面白く感じます。

先日、パラグアイで受験できる最後のチャンスであるDELE（スペイン語の試験）3回目を受験してきました。結果には期待できませんが、受験してよかったと思うことがありました。それは、いつもオンライン授業でお世話になっている大好きな語学の先生（ブラジル在住のポリビア人の先生）と再会できたこと、他国籍の受験生（韓国、台湾、ブラジル、ブルンジ）から良い刺激を受けられたことです。それぞれの母国語はかけ離れていても共通するスペイン語の試験合格に向けて頑張っている同志がいると思うと、大変心強く感じます。また休憩時間などに会話ができることも、楽しみの1つです。

自分の頭の中にあるアイディアを見出すためにも、他の人と繋がるためにも、やはり言葉は必要不可欠だと感じます。どのような言語においても難しい言葉をたくさん覚えることは大切かもしれませんが、易しい言葉を使ってでも人の心を動かせるような豊かな表現ができるようになりたいと思います。